

令和6年度 福島学院大学大学院心理学研究科臨床心理学専攻 A日程入試問題

選抜番号

氏名

---

【問1】

(1) Wunt, W.に関する記述として最も適切なものを1つ選んでください。

- ア 意識を否定し、行動主義を唱えた。
- イ イギリス心理学の父と呼ばれる。
- ウ 進化論を発表した。
- エ 内観法では心の中を客観的に捉えることができると述べた。
- オ 世界で初めて心理学の実験室を創設した。

(2) 複数の量的な説明変数が1つの量的な目的変数を予測するための解析方法として、最も適切なものを1つ選んでください。

- ア 因子分析
- イ 判別分析
- ウ 分散分析
- エ 重回帰分析
- オ 相関分析

(3) Pavlov, I. P. が、犬の実験で発見した学習の1つである古典的条件づけに関する記述として適切でないものを1つ選んでください。

- ア エサ＝無条件刺激
- イ 音＝条件反応
- ウ エサに対する唾液分泌＝無条件反応
- エ 無条件反応＝UR
- オ 古典的条件づけで成立するのは、条件刺激と条件反応の連合である。

(4) 心理学的ストレス理論について、最も適切なものを1つ選んでください。

- ア Salye, H. は心理的ストレスを個人がどのように認知するかがストレス反応の出現に影響するとした。
- イ ストレス反応を低減するためにとられる対処を「レジリエンス」という。
- ウ ストレス反応に対して行われる対処を問題焦点型対処という。
- エ ストレスに対する認知的評価のうち、刺激に対する有害性の認知を1次的評価という。

(5) 記憶について、正しいものを1つ選んでください。

- ア 自転車の乗り方や泳ぎ方など自動的な行動を可能にする記憶を感覚記憶という。
- イ エピソード記憶は反復によって記憶される。
- ウ 意味記憶と手続き記憶は加齢の影響を受けにくい。
- エ 長期記憶の中にワーキングメモリが存在する。

解答欄

(1) オ	(2) エ	(3) イ	(4) エ	(5) ウ
-------	-------	-------	-------	-------

【問2】

- (1) 心理尺度の信頼性が高いとはどういうことか、また、信頼性を確認する方法にはどのようなものがあるか2つの方法について具体的に説明してください。

解答欄

<解答例>心理尺度の信頼性が高いとは、心理学的測定値に含まれる誤差が小さいこと、もしくは何度測定を繰り返しても、ほぼ同様の値が安定して得られることを指す。信頼性を確認する方法としては、同一人物に時間をおいて同一検査を行い、2回の結果を相関関係で評価する再検査法やある尺度に関する複数の質問を、2群に分けて相関係数を算出して評価することで内的整合性を確認する方法である折半法、ある尺度の項目について可能なすべての組み合わせの相関係数を算出して平均する方法であるクロンバックの $\alpha$ 係数などがある（いずれか2つ）。

(2) 逆転移とは何か具体例を含めて説明してください。

解答欄

＜解答例＞逆転移とは、セラピスト（治療者）がクライアントに向ける治療者の無意識的反応（感情）であり、逆転移に気づくことでクライアントの治療に役立てることができる。具体例としては、セラピストがクライアントに対して抱く好意や嫌悪的感情がある。

(3) 作業同盟（治療同盟、アライアンス）とは何か、また作業同盟を強固なものにするためにセラピスト（治療者）として必要なことを2つ具体的に説明してください。

解答欄

＜解答例＞作業同盟とは、クライアントとセラピストの治療を行うための関係性であり、作業同盟が強固であるほど介入効果は良好であるとされる。セラピーの目標に関する合意、セラピーにおける課題についての合意、情緒的絆の3要素から構成される。作業同盟を強固なものにするためにセラピストとして必要なこととして、共感を示すことや協同作業を行うことなどが挙げられる。

(4) インテーク面接について説明し、臨床心理士や公認心理師の業務の中でインテーク面接において特に重要とされているものを挙げて、その重要性について論じてください。

解答欄

＜解答例＞インテーク面接とは、初回面接や受理面接とも呼ばれ、最初に行われる心理面接である。インテーク面接においては、臨床心理士や公認心理師業務の中でもアセスメントが特に重要である。その理由として、インテーク面接は、今後の支援方針や来談計画を立てる目的があり、それらの目的を達成するためにもアセスメントを欠かすことができない。

(5) スーパーヴィジョンについて説明し、通常の心理療法の違いについて関係性という語を含めて論じてください。

解答欄

＜解答例＞スーパーヴィジョンとは、指導者からさまざまな臨床技術についての指導を受けることを指す。通常の心理療法におけるセラピストとクライアントの関係は対等であるが、スーパーヴィジョンにおいては、指導する者とされるものという関係であるため、対等とは言えない。また、スーパーヴィジョンでは教育的評価を行う点や、被指導者の個人的な問題を扱うかどうかという点が通常の心理療法と異なる点と言える。